

# リオプロップ UV7W 水中殺菌灯

ポンプ一体型

## 取扱説明書



リオプロップUV7W水中殺菌灯をお買い上げいただきありがとうございます。本製品をお使いいただく前に注意深く読み、よく理解してください。この説明書はいつでも取り出せるところに大切に保管してください。

品名品目	観賞魚用紫外線殺菌装置
材質	ABS等
原産国	台湾
表示社名	神田養魚株式会社 用品部
連絡先	発売元 カミハタ 〒670-0073 姫路市御立中3-3-20 Tel.(079)297-5420 Fax.(079)293-6467 ホームページアドレス <a href="https://www.kamihata.co.jp">https://www.kamihata.co.jp</a>

※この製品は改良の為、予告なしに仕様デザインを変更することがあります。あらかじめご了承ください。  
最新の情報はホームページをご参照ください。

## 安全にお使いいただくために

### ！注意

- 土や砂、ゴミなどをポンプ部分が吸わないように設置位置に注意してください。（故障、寿命低下のおそれあり）
- 交換の目安表を参考にして、必要に応じてパート交換をおこなってください。（故障、漏電、性能低下のおそれあり）
- UVハウジングとポンプユニットは差し込みによって保持されていますので、本品を取り扱う際は、UVハウジングとポンプユニットの両方を持ち、落下による破損を防止してください。（故障のおそれあり）
- 小型の魚、エビ、イソギンチャク、クラゲなどが吸入口および吐出口から入り込むおそれがあります。このような生体を飼育している水槽で、本品を安全な位置に設置したり、飼育生体を別の水槽に移動するなど、適切な処置がおこなえない場合は、本品を使用しないでください。（故障のおそれあり）

### その他のご注意・お願い

- 掃除やお手入れの際には、熱湯、アルコール、シンナーなどは使用しないでください。変質、変色のおそれがあります。洗剤も生体に影響するおそれがありますので使用しないでください。ぬるま湯に浸した布をしぼってご使用ください。
- 他の人に譲渡する場合は必ずこの説明書も一緒に渡してください。
- 本品のポンプユニットは耐紫外線樹脂を使用した専用品です。既存製品のリオプロップ1000はサイズが同じですが、耐久性が異なるため使用しないでください。
- 本品は魚病薬の効果を著しく低下させる場合がありますので、本品と魚病薬との併用はできません。
- 本品は電源のON・OFFを頻繁に繰り返し続けるような機器に、接続して使用しないでください。
- 本品は周波数別の仕様になっていますので、使用地域の周波数に適合した機種をお使いください。（ポンプ動作不良、故障の原因になります）

## 安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくために警告、注意などをよく読み理解してからご使用ください。誤った使い方は人や生体、器具類の故障、感電、火災など重大な事故の原因となりますので必ずお守りください。

### ！警告

- UV放電管から照射される紫外線は、目や皮膚に有害です。UV放電管の光を直視したり、皮膚に近づけないでください。UV放電管ユニットの交換、点検などをおこなう場合は、必ず2in1電源アダプターの電源プラグをコンセントから抜き、通電を停止させた状態であることを確認した上でおこなってください。（目、皮膚に損傷のおそれあり）
- 本品の電源アダプター部分を水に濡らしたり、水中に落とした場合はすぐに電源を抜き、再使用しないでください。（感電、発火のおそれあり）
- 生体の出し入れ、掃除、点検、移送などで水槽内に手を入れる時は必ず、すべての電源を抜いてください。（感電のおそれあり）
- 煙が出たり、焦げ臭いにおいがしたら、直ちに電源プラグを抜いてください。（感電、発火のおそれあり）
- 電源プラグ部分、電源コネクター部分を濡らしたり、濡れた手で触らないでください。（感電、発火のおそれあり）
- UV放電管の内部に水が入った場合は、直ちに電源プラグを抜いてください。（感電のおそれあり）
- 湯気など湿気の多すぎる所、ほこりや粉じんの多い所では使用しないでください。（感電、発火のおそれあり）
- 長時間使用しない時は、電源プラグを抜いてください。電源プラグの刃の部分やコンセントの汚れやほこりは定期的に取り除いてください。（発火のおそれあり）

### ！警告

本品を改造して使用しないでください。（故障、発火のおそれあり）

本品の近くに燃えやすいものを置かないでください。（発火のおそれあり）

### ！注意

- 本品は屋内の観賞魚水槽用に開発されています。他の目的では使用しないでください。（感電、発火、故障のおそれあり）
- コードを傷めないでください。
  - 曲げすぎない
  - 引っ張らない
  - 重量をかけない
  - 束ねない
  - 加工しないなど
（感電、発火のおそれあり）
- 本体及び割れやすいUV放電管、電源アダプター部分を落としたり、ぶつけたりして傷をつけないでください。（感電、発火、故障のおそれあり）
- 電源プラグをきちんと差し込み、タコ足配線をしないでください。（発火のおそれあり）
- 電源コネクターは確実に奥まで差し込んで接続してください。（感電、発火、故障のおそれあり）
- 電源コードに水が伝わってコンセント部分を濡らさないようにしてください。電源コードをたわませて水を逃がしてください。（感電、発火のおそれあり）
- 本品は水中使用専用です。本体が気中にある状態では電源を入れないでください。（発火、故障のおそれあり）

### ！注意

電源アダプター部分に布などをかぶせないでください。（発火、故障のおそれあり）

小さなお子様に操作させたり、本体に触ったり、いたずらをさせないでください。（故障のおそれあり）

2in1電源アダプターの電源プラグをコンセントから抜く際や、電源コネクター部分の接続を外す際は、電源コードを引っ張らず、電源アダプター本体および、電源コネクター部分を持っておこなってください。（故障、発火、故障のおそれあり）

2in1電源アダプターとポンプユニットおよびUV放電管ユニットの電源コネクターを接続する、または外す場合は、2in1電源アダプターの電源プラグをコンセントから抜いて通電を止めた状態でおこなってください。通電した状態で電源コネクターを抜き差ししないでください。（感電、発火、故障のおそれあり）

電源アダプターとUV放電管ユニットおよびポンプユニットを接続する電源コネクター部分に水がかからないように十分ご注意ください。（感電、発火のおそれあり）

※本品に限らず、電気を使用する観賞魚用品をご使用の際には安全のため、漏電ブレーカーを設けるなどの処置をおこなうことをおすすめします。

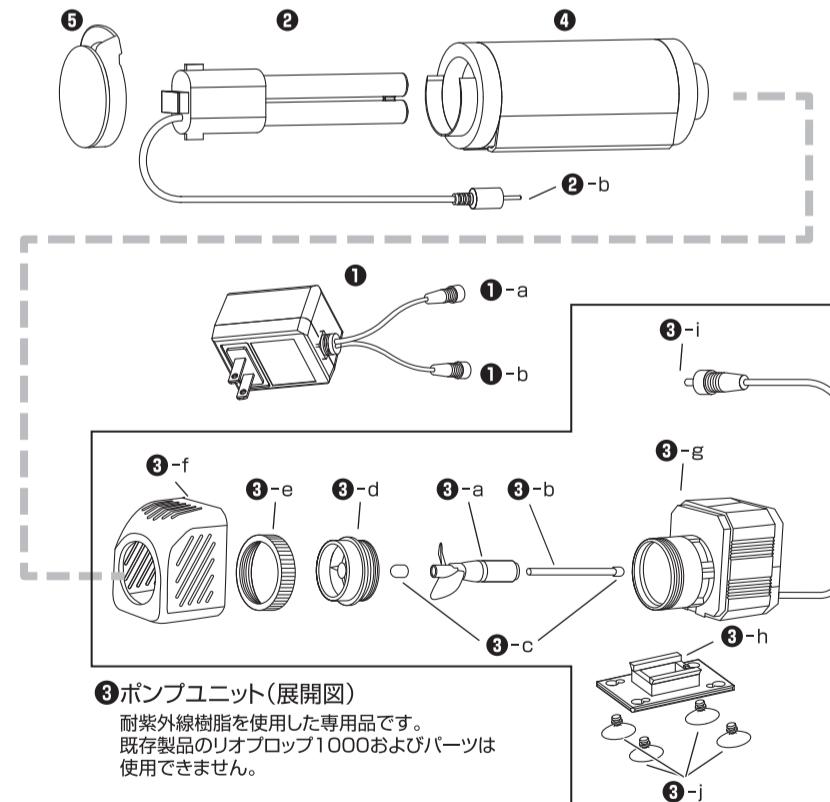
本品は100V(50Hz, 60Hz)以外で使用しないでください。

本品は水温が10°C以下、35°C以上になる場所では使用しないでください。（発火、故障のおそれあり）

空運転はしないでください。必ず本体を水に入れてから使用してください。（故障のおそれあり）

エアレーションなどの気泡を吸わない場所に設置し、気泡を含んだ水を本体内に通さないでください。気泡を吸うとポンプ動作不良、ポンプ短寿命、殺菌力低下および故障の原因となります。

## 各部の名称



- ①:2in1電源アダプター
- ①-a:ポンプユニット用電源コネクター（ジャック）(2in1電源アダプター側)
- ①-b:UV放電管ユニット用電源コネクター（ジャック）(2in1電源アダプター側)
- ②:UV放電管ユニット
- ②-b:UV放電管ユニット用電源コネクター（プラグ）(UV放電管側)
- ④:UVハウジング
- ⑤:吐出口
- ③ポンプユニット(展開図)
  - ③-a:インペラ
  - ③-b:セラミックシャフト
  - ③-c:ゴムキャップX2
  - ③-d:ハウジングエンドキャップ
  - ③-e:ハウジングエンドキャップ止め
  - ③-f:ハウジングストレーナー
  - ③-g:モーターハウジング
  - ③-h:キスゴムスタンド
  - ③-i:ポンプユニット用電源コネクター（プラグ）(ポンプユニット側)
  - ③-j:キスゴムX4個

## 仕様

用 途	観賞魚水槽用殺菌灯
品 名	Rio PROP (リオプロップ)UV7W 水中殺菌灯

### UV放電管ユニット

定 格 電 圧	AC100V
定 格 周 波 数	50/60Hz (共用)
定 格 消 費 電 力	7W
UV放電管寿命	約8,000時間

### ポンプユニット

定 格 電 圧	AC100V
定 格 周 波 数	50Hz/60Hz (非共用)
定 格 消 費 電 力	4W (50Hz)、4.5W (60Hz)
通 水 量	毎時約450ℓ (50Hz)、毎時約500ℓ (60Hz)
適 合 水 量	最大200ℓ程度
適 合 水 温 範 囲	10~35°C

重 量 約590g

電 源 コ ー ド 長 約1.8m

寸 法 全高220mm, 全幅80mm

製品トータルでの定格消費電力 12W (50Hz/60Hz)

## 交換パート

交換パートは予備のパートとして、常に用意しておくことをおすすめします。

品 名	交換目安
2IN1電源アダプターユニット	約3年
ポンプユニット	約2年
UVハウジング&吐出口	約2年
UV放電管ユニット	約8,000時間
吐出口	約2年
キスゴム×4個	約1年

※設計上の標準使用期間を超えて使用されると、経年劣化により故障に至るおそれがあります。

※ポンプユニットは、50Hz用と60Hz用で仕様が異なります。ポンプユニットを交換する際は、ご使用になる地域の周波数にあった仕様の機種をお選びください。周波数の異なる地域での使用は、動作不良、異音、故障の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

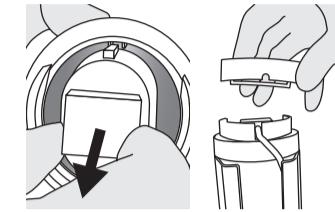
**《ご使用になる前に》**

製品の製造および弊社からの出荷の際には万全を期すために検査をおこなっておりますが、念のためご使用になる前に各パーツが揃っているか、また破損は無いか商品をご確認ください。破損などが見つかった場合はそのまま使用せず、速やかにお買い上げ店にお申し出ください。

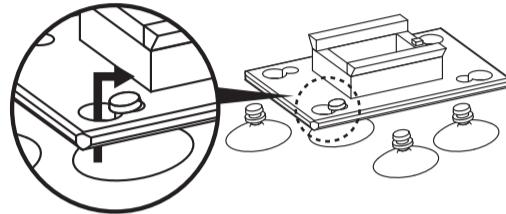
本品は観賞魚を快適な環境で飼育するために、水槽内の有害細菌を殺菌し、水を汚す有機物の分解を促進します。

**①組み立て**

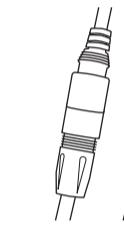
吐出口とUV放電管ユニットをUVハウジングから抜き取り、UV放電管部分に破損がないことを確認後、再びUV放電管ユニットの突き出し部が、UVハウジングの溝部分に入るよう差し込みます。その後、吐出口の切り欠きが電源コードの位置にくるようにめ込みます。



キスゴムを袋から取り出し、ポンプユニットのキスゴムスタンドの大きな穴の部分に差し込み、その後小さい穴の位置までスライドさせて固定します。



UV放電管ユニット側とポンプユニット側のそれぞれの電源コネクターと、2in1電源アダプター側の2本の電源コネクターをあらかじめ接続しておきます。



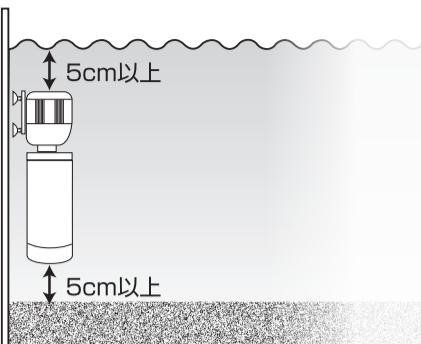
2in1電源アダプター側の電源プラグは、本体を水中に設置した後にコンセントに差し込みます。

※本体が空気中にある状態で通電させないでください。ポンプが空回しになり故障する原因となります。

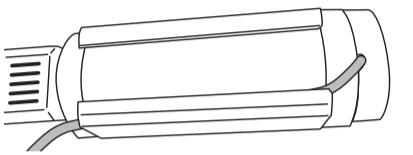
※電源アダプターをコンセントに差し込んでいる状態で、各電源コネクターを抜き差ししないでください。(感電、UV放電管ユニット、ポンプユニットが故障する原因となります。)

**②水槽内での設置****A 立てて設置する場合**

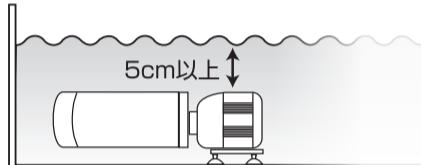
ポンプユニット部分を上にして水槽壁面にキスゴムで固定します。ポンプユニットのハウジングストレーナー(吸水口)は水面から5cm以上との距離を取ってください。(ポンプユニットの空気吸い込みによる故障防止のため) 排水口は底砂から5cm以上距離を取ってください。(底砂や汚れの巻き上げ防止のため)



※UV放電管側の電源コードは、UVハウジングの溝のどちらかに差し込んでください。

**B 横にして設置する場合**

底砂や土のような低床材を使わないベアタンクのみで可能です。低床材を敷いた状態では、砂を吸い込んで故障する原因となりますので、横置き設置はしないでください。

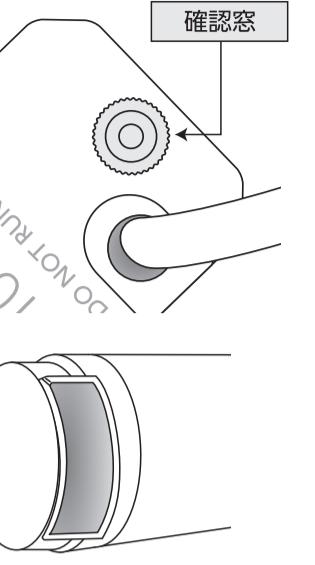


※ハウジングストレーナー(吸水口)および吐出口付近に水草、砂、サンゴのポリップ、イソギンチャク、または大量のゴミなどがある場合は、ハウジングストレーナーのすき間を通過する小型の魚やエビなどを飼育している場合、設置位置の変更や飼育生体の移動など、適切な処置をおこなってください。(ポンプ故障や生体死因の原因となります。)

※本品を壁面につけたまま、水槽の水を抜くことは避け、取り外してから水を抜いてください。(落下破損のおそれがあります。)

**③通電開始**

水槽内での設置位置が決まり、UV放電管ユニットとポンプユニットの電源コネクターと、2in1アダプターの2本の電源コネクターをそれぞれ確実に接続してあること、および本体が水中に設置されていることを確認したあとに、2in1電源アダプターの電源プラグをコンセントに差し込んで通電させます。UV放電管の点灯は、ポンプ上部の確認窓が青紫に光っていることで確認することができます。

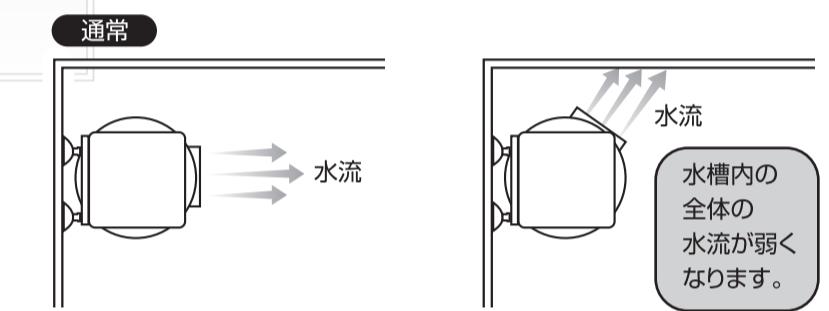


インペラの羽根の位置によってはここから青紫光が見えない場合もありますので、その場合は吐出口からの目視も併用してください。※目視は必ず水中で行ってください。

**水流の強弱と向き調節**

ポンプユニットとUVハウジングの勘合部をひねり吐出口の方向を変えることで、水槽内の水流の強さと向きも調節することができます。

水流が直接水槽に行くために、水槽内の水流が強くなります。UVハウジングを回転させて吐出口を水槽壁面に向け、水流を水槽壁面に当てて水槽内の水流を弱めることができます

**Q&A 故障かな?と思ったら****次のことを確認してください。****症状 1 UV放電管が点灯しない、点滅する。**

## 考えられる原因

● 2in1電源アダプターの電源プラグがコンセントから抜けていませんか。

## 対処方法

○ 電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。

● 2in1電源アダプターの電源コネクターとUV放電管ユニットの電源コネクターの接続が外れていますか。

○ 両方を確実に接続してください。

● UV放電管ユニットの寿命で、交換時期ではありませんか。

○ UV放電管ユニットの交換目安は約8000時間です。交換時期の場合はUV放電管ユニットを新しいものに交換してください。

● 低水温で使用していませんか。

○ 低水温で使用した場合、点灯時にチラつくことがあります。故障ではありません。水温10°Cから35°Cの範囲で使用してください。

● UV放電管が割れていませんか。

○ UV放電管ユニットを新しいものに交換してください。

**症状 2 電源を入れても水が出てこない。ポンプからカタカタ異音がする。通水量が極端に低下した。**

## 考えられる原因

● 周波数にあった仕様のポンプユニットを使用していますか。

## 対処方法

○ お住まいの地域の周波数と異なる仕様のポンプユニットを使用すると、正常に作動しません。周波数にあった正しい仕様のポンプユニットを使用してください。

● 電源アダプターの電源コネクターとポンプユニットの電源コネクターの接続が外れていますか。

○ 両方を確実に接続してください。

● ポンプユニットのハウジングストレーナー(吸い込み口)やインペラ周辺に空気や汚れが詰まっていますか。

○ 空気の場合は本体を水中で傾けると取り除けます。汚れの場合は【お手入れ・メンテナンス】に従ってポンプ周辺を清掃し始動させてください。

● インペラおよびセラミックシャフトが破損もしくは、ゴムキャップが紛失していませんか。

○ ポンプユニットを新しいものに交換してください。

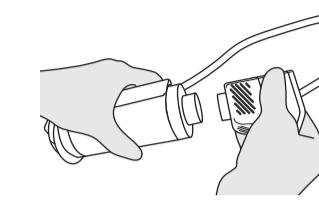
**お手入れ・メンテナンス**

メンテナンスの際には取扱説明書の警告及び注意事項をよくお読みください。

**●ポンプユニット部分の清掃、メンテナンス**

①2in1電源アダプターの電源プラグをコンセントから抜き運転を止めます。

②運転停止後、UV放電管が点灯していないことを確認窓にて確認し、本体を水中から取り出します。



③ポンプユニットと2in1電源アダプターのコネクター接続を外します。

④ポンプユニットとUVハウジングの接続を外します。

⑤ポンプユニットのハウジングストレーナーを抜き取った後、ハウジングエンドキャップ止めを反時計に回して緩めて、ハウジングエンドキャップとともに抜き取ります。この時、セラミックシャフト両端にあるゴムキャップを紛失しないように注意します。



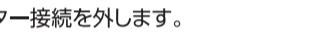
⑥インペラおよびセラミックシャフトを抜き取り、インペラ、セラミックシャフト、モーターハウジング内部、ハウジングストレーナー、ハウジングエンドキャップなどに付着した汚れを歯ブラシなどで擦り、水道水で洗い流します。この時洗剤などを使用しないでください。

⑦清掃後、上記と逆の手順で組み立て、UVハウジングと接続し、【使用方法】に従って運転させます。

**●UV放電管ユニットの交換方法**

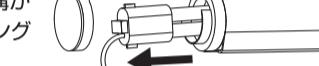
①2in1電源アダプターの電源プラグをコンセントから抜き運転を止めます。

②運転停止後、UV放電管が点灯していないことを確認窓にて確認し、本体を水中から取り出します。



③UV放電管ユニットと2in1電源アダプターのコネクター接続を外します。

④UVハウジングから吐出口を取り外します。



⑤UV放電管ユニットの電源コードをUVハウジングの溝から取り外してから、UV放電管ユニットをUVハウジングから抜き取ります。



⑥交換する新しいUV放電管ユニットの放電管(ランプ)部分に破損がないことを確認後、UV放電管ユニットの電源コードをUVハウジングの溝部分に合わせ、UV放電管ユニットの突き出し部をUVハウジングの切り欠きにあわせて差し込みます。



⑦吐出口を取り付けます。



⑧【使用方法】に従って運転させます。

⑨【使用方法】に従って運転させます。

**Q&A よくある質問****Q 何リットルの水槽まで対応できますか?**

**A** 水中の病原細菌(=病原バクテリア)および有機物分解促進目的では上限約200l水槽程度が目安です。ただし生体飼育密度の大きな水槽では、本品を複数使用するか、より高出力の殺菌灯の使用をお勧めします。

浮遊藻類(アオコ)を駆除する場合は、細菌に比べて倍化時間(増殖にかかる時間)が長いため、より大きな水量にも対応可能です。弊社試験では水量1000l、ろ過装置なし、別のポンプによる攪拌、1日20時間照明の条件下で本品を使用し、アオコ駆除を確認しております。

**Q UV放電管ユニットの交換時期はいつですか?**

**A** 約8000時間を目安に新しいものと交換してください。

**Q 殺菌灯を使用中の水槽内に薬品を入れても問題ありませんか?**

**A** 薬の成分によっては効果が著しく低下したり、化学変化を起こし魚などに有害な物質が発生する恐れがあります。薬品を使用する場合は、本品の使用を休止してください。

**Q ろ過バクテリアに影響はありませんか?**

**A** 安定した水槽の場合、ろ過バクテリアはすでにろ材に定着しており、殺菌灯内を通過しないので影響はありません。しかし、新しいろ材を使用する場合、ろ材にろ過バクテリアが定着するまでの時間(淡水では3~4週間、海水では9~10週間)は殺菌灯の使用を控えたほうが早く水質が安定します。市販の液体ろ過バクテリアを使用する際は、添加したバクテリアはろ材に定着するまで、しばらく(数日間)本品の使用を控えることをお勧めいたします。

**Q プロテインスキマーと併用したほうが効果はありますか?**

**A** 殺菌灯が殺菌したバクテリアの死骸、殺菌灯が分解しにくい高分子の有機物をプロテインスキマーは効果的に除去できますので、両者の併用は一層効果的です。

**Q 無脊椎動物に影響はありませんか?**

**A** 殺菌灯は本体内に流れている水に紫外線を照射し殺菌します。紫外線が直接無脊椎動物を含むすべての生体に照射されることはありませんで問題ありません。

ただしサンゴに細菌を食べさせる飼育方法(バクテリオプランクトン法)を採用している水槽では、殺菌灯の使用が適さない場合があります。

**Q タイマーを使用しても問題ありませんか?**

**A** タイマーに接続して使用することも可能です。ただし、頻繁にオンオフを繰り返す使用を続けると、ポンプユニットのインペラーやUV放電管のフィラメントなどに負担がかかり、両者の寿命に影響を与えるおそれがあります。

**Q 水質への影響はありますか?**

**A** 有機物分解を促進するため、アンモニアの発生速度が速くなる可能性があります。また紫外線の特性上、硝酸を亜硝酸まで還元します。どちらも生物ろ過がしっかり立ち上がっていれば浄化されるため、生物ろ過が十分に立ち上がった後の水槽に本品を設置するか、生物ろ過が立ち上がるまでは換水頻度を増やしたり、生体を飼育する場合は少ない数量で飼育するとよいでしょう。

■本品の電気用品の形式は本体に表示してあります。

■本品の製造には万全を期しておりますが、万一の故障の際には販売店様にご相談ください。

■本品を改造したり、補修及び誤った使い方による故障などにつきましては責任を負いかねます。

■本品を使用における生体の病気または死亡などに関しては責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。